

企画展示 出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

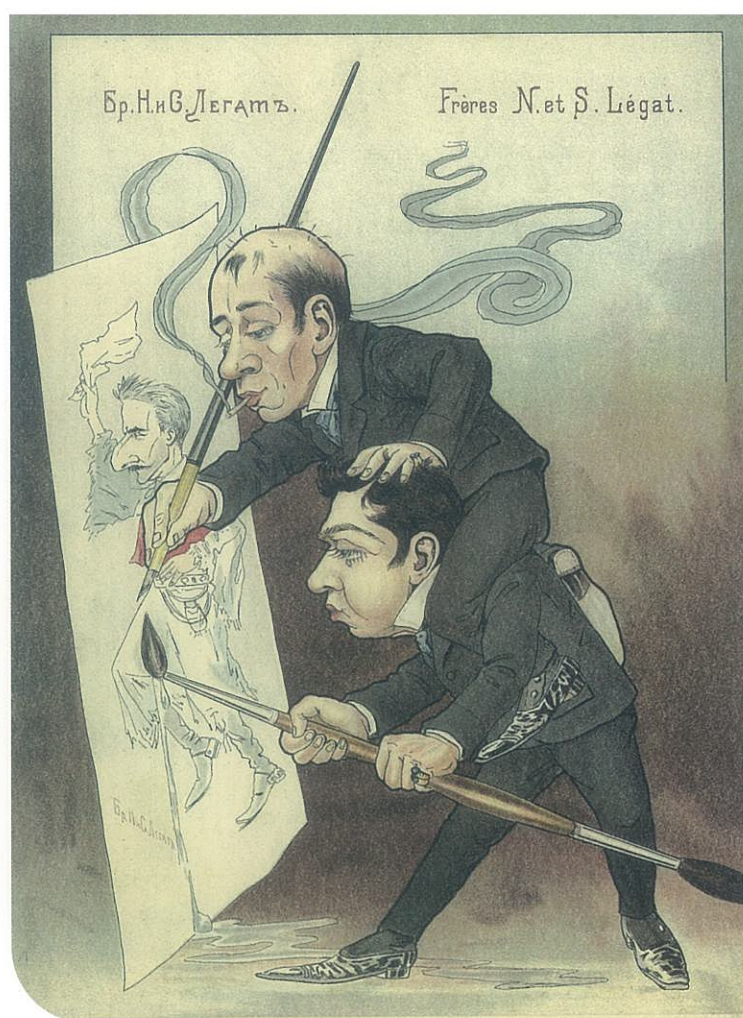
◆ロシア・バレエの caricature ニコライ・レガット画
(アンティーク・プリント [AP-286] / 1903年 / ロシア)
Russian Ballet Caricature by Nicolai Legat / 1903 / Russia / 33.5×25.5cm (AP-286)

Kenji Usui Ballet Collection

Ballet Caricatured

～ by Nicolai Legat ～

2013/11/12 (Tue.)～2013/12/8 (Sun.)



Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二 バレエ・コレクション
2013 企画展

風刺されたバレエ
～ ニコライ・レガットのペンより ～

2013/11/12 (Tue.)～2013/12/8 (Sun.)

レガット兄弟と caricature

風刺画は新聞など大衆メディアが登場したとほぼ同時期の19世紀から世界中で盛んに描かれました。とりわけ政治的な問題については、文章よりもピリッとした風刺が可能で分かりやすいため歴史的にも多く描かれてきたといっても過言ではないでしょう。

今回取り上げているのはすべてバレエに関わる風刺画ですが、登場するのはダンサーだけではなく、大道具などの裏方や指揮者といった表からは見えづらい劇場に関わる人も沢山取り上げられています。これはレガット兄弟が帝室ロシアバレエ学校で学び、同バレエ団に入団し、彼らの人柄や様々な特徴を知っていたからこそ可能だったことと言えます。風刺のきいた、時に意地悪な、そして面白い caricature の世界をお楽しみください。

次回予告

『ロマンティック・バレエの書棚から』

Romantic Ballet from Bookshelf

ロマンティック・バレエ時代というのはバレエの黄金期の一つでした。現在、多くの人が「バレエ」と聞いて真っ先に思い浮かべるトゥ・シューズにふわふわとしたロマンティック・チュチュが登場したのもこの時代のことでした。ロマンティック・バレエの時代をその書籍からご紹介いたします。

2014/1/15 (Wed)～2014/2/16 (Sun)

◎企画・監修

芳賀直子(はが・なおこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

水野慎子(みずの・のりこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーターアシスタント
Noriko Mizuno (Assistant Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二 バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 tel: 0798-68-0223 (代表) fax: 0798-68-0212

Hyogo Performing Arts Center

風刺されたバレエ
ニコライ・レガットのペンより

キャリアチユアになつた 有名ダンサーたち



レガット兄 | ニコライ・レガット / Legat, Nikolai (1869~1937) ダンサー、バレエ・マスター、振付家、教師、風刺画家

父ギュスタフに学んだ後、ロシア帝室バレエ学校でゲルト、ヨハンソンらに学ぶ。学生時代にデビューし、1888年マリンスキーに入学。プリンシパルとなり、ビエリーナ・レニャーニ⑩、アンナ・パヴロワ⑨、マチルダ・クシェンスカヤ⑥、ヴェラ・トレフィロワ⑰らをパートナーとして踊った。ダンスール・ノールとして理想的と言われ、70歳を超えても踊り続けた。プティバ振付「カルカプリノ」(1891)やレフ・イワノフ振付の「くるみ割り人形」(1892)などを初演で踊っている。1902年には、セルゲイと共にマリンスキー劇場のアシスタント・バレエマスターに就任。ロシア最初の皇帝ニコライ二世の子供たちのリクエストに応じて振付けた「人形の精」など少ないが振付も手掛けている。その他の振付作品に「タリスマン」「青髭」「魔笛」「血のように赤い花」「二人の泥棒」「白百合」などがある。その後教師に専念。1905年に師ヨハンソンより帝室バレエ教師を引き継ぐ。生徒にはリュボフ・エゴロワ⑪、オルガ・ブレオブラジェンスカヤ⑥、アグリッピーナ・ワガノワ⑤、タマーラ・カルサヴィナ⑫、ミハイル・フォーキン⑬、ワツラフ・ニジンスキー、アドルフ・ホルムらがいる。1914年にマリンスキー劇場を去り、様々なプライベートスクールで教えた後、最初の妻(生涯3回結婚した)ナディーヌ・ニコライエワと共にパリ、ロンドンのミュージック・ホールを巡演したり大衆劇場用にバレエを演出したりした。1922年に祖国を去った後、1923年からロンドンで教室を開き、1925年から1926年にかけてバレエ・リュスのバレエ・マスターをミラノに去ったエンリコ・チェケッティ⑩から引き継いだ。その後パリ、ロンドンの教室の生徒にはアレクサンドラ・ダニロワ、リディア・ソコロワ、リディア・ロボコワ、ニネット・ド・ヴェラワ、アリス・マルコワ、アントン・ドーリン、アレクサンドル・エグレヴスキー、マーゴット・フォンテンといったバレエ史を飾る名が並んでいる。ヴァイオリンとピアノも巧みであった。死後学校にその名が残し、サセックスに移転。

レガット弟 | セルゲイ・レガット / Legat, Sergei (1875~1905) ダンサー、バレエ・マスター、振付家

ニコライの弟。父ギュスタフに学んだ後、ロシア帝室バレエ学校でヨハンソン、ゲルトに学び、1894年に同バレエ団入団。1903年にはブルミエール・ダンスールに。教師としても働き、その教え子にはニジンスキーも名を連ねている。ロシア皇室劇場のレベティトゥールとしても活躍。マリア・プティバ④と結婚したが、その関係や自らが関わったダンサーストライキに象徴される政治的信条の悩みなどを苦として1905年に自殺。

- ① S. ルキアノフ
- ② マリウス・プティバ
- ③ A. カミチェフ
- ④ マリア・プティバ
- ⑤ アグリッピーナ・ワガノワ
- ⑥ マチルダ・クシェンスカヤ
- ⑦ エ・ドゥ・ラツァーリ
- ⑧ A. ヒラート
- ⑨ アンナ・パヴロワ
- ⑩ エンリコ・チェケッティ
- ⑪ リュボフ・エゴロワ
- ⑫ タマーラ・カルサヴィナ
- ⑬ ビエリーニャ・レニャーニ
- ⑭ A. プルガコフ
- ⑮ P. ベレイアスラフシェフ
- ⑯ オルガ・ブレオブラジェンスカヤ
- ⑰ ヴェラ・トレフィロワ
- ⑱ ミハイル・フォーキン